

VOICE

三好町では、心の通う対話の町政を進めていこうと、皆さまから町政に対する意見をいただく対話集会「皆さまと語る会」を開催しています。こうしたなか、今年度はテーマを決めて実施しています。その第一回目となる「皆さまと語る会」が6月14日、「地震防災対策」をテーマに教育学習センターで行われました。

◆開催テーマ「地震防災対策」 6月14日(土)開催 16人参加

住民 ハザードマップの広域避難場所を決めたのはいつですか。

町長 地域防災計画を策定した昭和51年4月1日です。なお地域防災計画の見直しのたびに、随時避難場所については見直しをしています。

住民 ハザードマップでは、浸水状況などの内容は掲載されていますが、地盤の状態がどのようになっているかは掲載されていません。地盤の状態が知りたいのですが。

町長 山であったところ、谷であったところ、池であったところもあり、これらをすべて調査することは大変難しいことです。しかし町としても、できる限り調査しなければならぬと思っています。三好ヶ丘は都市基盤整備公団が整備した区画整理地区であるため、地盤の状態についてのデータは、公団が保存し

かを把握していただくことが望ましいと思います。

住民 災害が起きた時には、車に常備してあるジャッキ(車体などを下から持ち上げるかんたんな機械)が役に立つと聞いています。また人命用のロープも、自分が倒壊家屋の下敷きになった場合などに、大きな役割を担うことになるのだそうですが。

町長 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

住民 三好ヶ丘緑地区にある愛知中部水道企業団の貯水タンクは、地震が発生したときに大丈夫でしょうか。

町長 耐震性としては、震度5までは耐えられるとお聞きしています。なお中部水道企業団の貯水タンクには遮断弁がないため、これに代わる飲料水確保対策として、国や県の補助をいただきながら、飲料水兼用の耐震性貯水槽を、町内にある3中学校に順次設置していきたいと考えています。

皆さまの提言箱

意見 三好町民病院の駐車場の中で、障害者優先マークのあるところに健常者の車が駐車しており、実際に障害のある人が車を駐車できずに困っています。なんとかしてほしいのですが。

答え 障害者用の駐車スペースは5台確保していますが、駐車する人は障害のある人だけでなく、足や腰に傷病のある人や骨折などで整形外科へ通院している人、救急の患者さんたちなども利用しています。こうした人たちはすべて社会的弱者であり、車に障害者ステッ

ているかもしれませんので確認します。緑丘小学校は池を埋め立てた上に建っています。事前に調査をして建てられているので、壊れたり、倒れたりすることはないと考えています。

住民 三好町では、行政区にあるため池の堤防を補強する考えはありますか。また三好池が決壊する心配はないのですか。

町長 堤防そのものが震度6弱に耐えられるかどうか分からないので、調査します。また三好池は想定される地震の規模で、決壊することはないと聞いています。

住民 小学校に設置されている防災用資材庫には、非常食が置かれていません。各自で3日分の避難食料を非常用持出袋に入れて持ってくるのは大変です。3日分の食料を確保することも難しいので、小学校区単位で1日分でも確保できませんか。

町長 現状の備蓄量で万全というわけではありませんが、5万人の町民すべての非常食を確保するのは大変難しいと思います。なお現在、町として1万2000食の非常食を確保しており、主な保管場所として3中学校で640食、教育学習センター内に8,000食を保管しています。また地域防災計画の見直し後、地区の被害想定により、被害が大きいと予想されるところについては、非常食の配分を再検討しています。

住民 過去の地震において被害が大きかったのは、東海地震ですか。それとも東南海地震ですか。

町長 1944年に起こった東南海地震では、人と建物の被害はありませんでした。また1

カーをはっていない車がすべて健康な人のものとは限りませんので、ご理解いただきたいと思えます。ただし、歩行に支障のない通院患者さんには、障害者用の駐車場を利用しないように、呼び掛けていきたいと思えます。

意見 成人式について、仕事やいろいろな事情などで、やむを得ず参加できないこともあると思うのですが、本人が式に参加しないと記念品をもらうことはできないのでしょうか。

答え 成人式を迎える新成人は、仕事や大学などの関係で住民票を今まで住んでいた住所から、別の市町村に移しているケースも多くみられます。しかしこういった新成人のうち、何人かは自分の卒業した中学校のある市町村などの成人式に出席します。そのため住所地にかかわらず、成人式に出席した新成人に参加記念品を渡している市町村が全国的に多いのが現状で、三好町も同様に行っています。現在三好町では、予算の無駄のないように成人式を行うために、あらかじめ往復はがきによる案内通知にて式の出席希望者数を把握し、記念品を用意する方法を取っています。このため、成人式に出席しない新成人すべてに記念品を受け渡すことは困難です。ただし仕事などの事情により出席できない人は、その旨を申し出ただけであれば、一定期間ならば案内通知の控えと引き換えに記念品をお渡しできる方法を考えています。

意見 三好池の外周4.5kmの外周道路(トリムコース)で散歩していると、よく後ろ



非常用持出袋

945年に起こった三河地震では、人の被害はありませんでしたが、建物が4棟倒壊という被害がありました。なお三好町では、非常用持出袋を8月中旬に、希望した各世帯に配布する予定です。8月31日には防災訓練もありますので、ぜひこの非常用持出袋を持って参加していただきたいと思えます。一人ひとりが防災の意識を持っていただくことが大切だと考えています。

住民 災害時の人命救助にチェーンソー(自動のこぎり)があれば役に立つと思えます。

どこの家庭にあるのか、行政区には置いてあるのかといった情報がほしいと思うのですが、**町長** チェーンソーの取り扱いには、細心の注意が必要です。素人がいきなり扱うことは基本的には危険ですので、くれぐれも注意していただきたいと思えます。またチェーンソーの所有状況などを把握するのは、町では大変難しいことです。できることならば各行政区の中で、だれがチェーンソーを持っているの

からクラクションを鳴らされ、車が通り過ぎます。このコースは車の乗り入れはしないように要請した立て看板があるにもかかわらず、守っている車は少ないです。歩行者の安全のためにも、何とかありませんか。(はがき)

答え 三好池のトリムコースは町道として認定されています。また生活道路として利用されているので、通行止めにはできません。現在は、道路入り口付近に係車両以外の通行をやめていただくための立て看板を設置しました。また三好池には、休憩や釣りなどを目的にして訪れる人が多いことから、駐車スペースをなくすために道路沿いにアジサイの植樹をするなどして、駐車車両の排除を行うなど、少しでも通行車両が減少するように努めています。

(担当 都市計画課)



三好池トリムコースの入り口付近にある立て看板



パソコンの予約システム画面

意見 三好町の各種施設使用の予約について、一部の施設ではインターネットで予約できるようですが、三好丘陵公園など、ほかの施設に関する予約できるようにしてほしいのですが。

(電子メール)

答え 現在インターネットを利用して予約できる施設は、三好公園総合体育館・陸上競技場・テニスコート・野球場、中央公民館、緑と花のセンター「さんさんの郷」、そして御岳やまの家(長野県三岳村)の7カ所です。施設利用時には、情報機器で予約状況などを確認する必要があります。そのため三好丘陵公園や各コミュニティなどは施設の管理上、予約システムを導入することは困難な状況です。ご理解いただきたいと思えます。

(担当 広報情報課)

意見 小学校の学区を考慮してほしいのですが。

(提言箱)

答え 現在、学校教育法施行令第5条に基づ

いて「通学区域」を学校ごとで設定しています。この区域は各学校の開校時に、地域の人たちと協議を重ね、地域の実情を考慮して決定しているものです。「学校選択制」の導入については、通学区域制度の弾力化という点から一部の市町村で導入しているところもあります。しかし公立小中学校間において、学校の序列や格差が生じたり、学校と地域との連携が希薄になったりする恐れがありますので、三好町では従来どおりの通学区域でご理解いただきたいと思えます。

(担当 学校教育課)

意見 町民病院には、入院中に何か問題が発生したときの相談窓口がありません。ほかの病院ではソーシャルワーカーなどが家族と病院の間で立ち回り、相談のつてくれます。家族が入院しており、病院に意見を言えず、また退院後に相談をするところがないので、相談窓口を作ってほしいのですが。

(提言箱)

答え 大病院などでは、ソーシャルワーカーを設置していますが、町民病院と同規模の病院などの受け付け件数から考えると、ソーシャルワーカーの設置は運営上難しい状況です。現在入院中の相談は、主として総看護師長があたり、ケースによっては医事課の各担当で対応しています。また4月から「医療相談員」を新たに設け、各種の相談に対応していますので、気軽にご相談ください。そのほか、院内の各フロアに「病院に対する意見箱」を設置していますので、苦情など直接話しにくい場合などはご利用ください。なお意見箱に対する病院の回答は、院内の掲示板でお知らせしています。

(担当 町民病院)

コラム column



連載第16回

さらなる友好の実をかみしめる

7月3日と4日の2日間、三好町の友好都市・北海道士別市を訪問しました。区長の皆さんの研修に合わせた訪問です。士別市には、トヨタ自動車の寒冷地テストコースがあり、三好町と同様に自動車関連企業が立地しているという縁で交流が始まりました。平成12年に友好都市提携を締結。友好都市となってから、今年10月で3年になります。

士別市は明治32年に、北海道最後の屯田兵によって開拓された街です。屯田制は明治8年に設置され、同37年に廃止されたそうですので、明治後期に入植されて以来、実に100年の歴史があります。入植された100戸のうち1戸が火災で帰郷、99戸の人たちによって開かれ、農業主体で発展してきた士別市の人口は2万3,000人余り、今では少しずつ減少傾向のようです。わが町も明治の大合併の折、三好村、明越村、筋生村の3村が明治39年に合併して

三好村となり、昭和33年に人口9,000人を超え三好町となりました。単純比較はできませんが、今の町域になった年代は、士別市に似通っています。

またもう一方の歴史を振り返ると、わが町の各地にも開拓の足跡があります。明治34年の福谷根浦(現在のインターチェーン付近)の入植に始まり、昭和9年から19年にわたり今の東山区、そして戦後には打越大鹿山(現在の高嶺区)と今の三好丘陵各區の1帯に、食料増産のための開拓が行われてきました。人口5万人を突破し、今なお増加し続けるわが町の過去の中に、士別市と共通する部分があるのも、何かの因縁なんでしょうね。

世界に冠たる企業「トヨタ自動車」と、過酷な運命を乗り越えて来られた開拓農業の歴史、ひよっとしたら結ばれるべくして結ばれたのかも、と想像を膨らませると友好のきずなも強く感じます。

小学生、少年野球、サッカー、よさこいソラン、いじじゃんまつり、そして開拓を通してなど、官主導で始まった交流事業も民間へと広がっています。今年の三好いじじゃんまつりにも、士別市からエントリーをいただいています。さらなる友好の実をかみしめたいものです。

三好町長

足野知英



すみれ保育園の消火・避難訓練

意見 子どもが地震に対して不安を感じています。特に年齢の低い子どもはストリートに不安を感じると思います。地震対策とともに子どもに対する心の配慮も考えてほしいのですが。

(提言箱)

(担当 児童課)

皆さまからのご提言をお待ちしています

三好町では、心の通う対話の町政を進めていこうと、町政に対する皆さまからの提言をいただくため「皆さまの提言箱」を設けています。
▶設置場所=役場、サンネット、サンアート、町民病院、総合体育館、中央図書館

※提言は「皆さまの提言箱」のほか、下記のいずれかの方法でも受け付けています。

- ①電子メール…☒teigen@town.miyoshi.aichi.jp
- ②ファクス…☎(32)2165
- ③郵便…〒470-0295 三好町役場広報情報課あて(住所不要)

広報情報課 ☎(32)8357



●●●ご提言についてのお願い●●●

三好町では「心の通う対話の町政」を進めていこうと、町政に対する皆さまからのご提言をいただくため、役場、サンネット、サンアート、町民病院、総合体育館、中央図書館の6施設に「皆さまの提言箱」を設けています。このほかにも電子メールやファクス、郵便などさまざまな方法で、多くの皆さまからご提言をいただいています。

ご提言の中には「自宅前の道路に穴があいているので、なんとかしてほしい」「近所の農薬散布をやめてほしい」などのご要望も数多くいただいています。しかし対処ができないものも幾つかあります。というのも、いただいたご提言が匿名であるため、場所を特定できないのです。そこでご提言をいただく際には、提言に対して責任を持っていただくためにも、ご自分の住所・氏名は必ず明記していただくようお願いします。(広報でのお名前の公表はいたしません)